

# 山形県国際交流センター 外国人相談窓口通信

平成24年6月発行

(公財)山形県国際交流協会

山形県国際交流センターでは、県内在住の外国人のために、日常生活に関する困りごとなどを、母国語で気軽に相談できる窓口を開設しております。平成23年度の相談窓口の活動状況や相談の状況などをご紹介し、あわせて全国・県内の外国人登録者数の概況等もお知らせいたします。

## 平成23年度山形県国際交流センター 外国人相談窓口活動状況報告

### ■相談員研修会の開催■

第1回目の研修会は、6月30日(木)に「相談事例の共有と検討」をテーマに、山形県精神保健福祉センター所長の有海清彦氏、山形子ども日本語サポートネット代表の長藤節子氏の両氏をスーパーバイザーにお迎えして実施しました。第2回目は11月9日(水)に、午前中は「新しい在留管理制度について」を仙台入国管理局統括審査官の工藤信裕氏を講師に、午後からは「多文化社会から学ぶ～精神科臨床の立場から～」をテーマに、ヒップメンタルクリニック院長の五十嵐善雄先生を講師にお迎えして実施しました。

★★今年24年度1回目の研修会は、国際ボランティアセンター山形(IVY)理事の西上紀江子氏をアドバイザーにお迎えして、最近の外国人相談の状況や相談事例の共有します。

### ■「話題あれこれ話のサロン」の開催■

外国籍県民やそのご家族などを対象とした、学びと交流の場「話題あれこれ話のサロン」を、昨年12月10日(土)に開催しました。起震車で震度6強を体験し、地震や災害への備えや救急車の呼び方などを、山形市消防本部予防課指導係の佐藤係長と小関副士長から分かりやすく教えていただきました。

## 外国人相談窓口 平成23年度の状況から

平成23年度に受けた相談件数は420件で、22年度の394件に比べ、プラス26件、前年度比106.6%となっています。

### ◆相談者の在住市町村分布

基本的に相談は匿名ですが、少なくとも県内23の市町村に住む方々から相談を受けました。東京や新潟、USAからの問合せなどもありました。

### ◆相談者の国別傾向

平成23年度の傾向をみると、外国人からの相談は229件で全体の54.5%(前年度比3.1ポイント減)、日本人からの相談は176件で全体の41.9%(前年比3.6増)、国籍不明が15件で3.6%(同0.5減)でした。外国人からの相談を国別にみると、中国人からの相談は相談全体の12.6%(同8.2減)、ブラジル人21.2%(同5.5増)、韓国人8.6%(同2.1減)、フィリピン人4.0%(同2.7増)その他の国々の方は8.1%(同1.0減)となっています。

### ◆言語別の傾向

日本語での相談は222件で全体の52.9%(前年度比5.2ポイント減)、中国語は66件で15.7%(同2.3減)、韓国語は24件で5.7%(同1.2減)、ポルトガル語は70件で16.7%(同9.6増)英語は11件で2.6%(同5.8減)タガログ語が8件で1.9%(同1.9増)その他の言語が19件で4.5%(同3.0増)の構成比となっています。

### ◆相談の形態・男女比

電話での相談は57.6%（対前年度比5.3ポイント減）、面接が39.8%（同6.0増）。またEメールによる相談は2.4%（同0.9減）、手紙による相談0.2%（同0.2増）でした。

相談者の男女比を見ると、女性の相談者が66.0%（対前年度比6.6ポイント増）、男性が34.0%（同6.4減）でした。

◆過去5年間に当センターが受けた相談の項目別相談件数の推移 (件)

項目	H19	H20	H21	H22	H23
1. 通訳・翻訳・語学学習等	57	57	37	56	54
2. 出入国・在留資格等	88	67	94	60	65
3. 家庭・戸籍関係	35	31	29	29	33
4. 社会保障制度	4	16	10	28	21
5. 医療関係	12	7	8	14	12
6. 労働・就職	8	10	8	5	6
7. 教育関係	16	18	13	6	8
8. 交通・運転免許等	11	10	6	17	9
9. 生活一般	130	135	121	134	155
10. その他の紹介・照会等	42	47	48	45	57
合計	403	398	374	394	420

◆相談項目別事例

① 通訳・語学学習等(54件 相談全体の12.9%)

来所相談者への通訳対応や、3者電話による通訳、医療通訳については他の団体を紹介しました。翻訳依頼についても他の団体を紹介、ハイティーン学習者への日本語教室の紹介などを行いました

② 出入国・在留資格等(65件 15.5%)

在留期間の更新手続きやフィリピン・中国からの親族訪問手続き、永住手続きなどについて情報提供を行いました。また、外国での在留期間更新手続きに関する相談も寄せられました。外国のパスポート更新手続きに関する情報提供も行いました。また「夫が死亡したので永住はもういない」といった相談もありました。また、今年7月9日から新しくなる在留管理制度についての質問もあり、情報提供を行いました。

③ 家庭・戸籍関係(33件 7.9%)

夫婦間の問題について、家族関係の悩み、婚姻手続きについて、離婚についての相談がありました。

④ 社会保障諸制度(21件 5.0%)

年金受給に関する相談や、車両税について、所得税の還付についてなどの相談がありました。また日本とブラジルの年金協定がスタートした事について情報提供を行いました。

⑤ 医療関係(12件 2.9%)

医療機関の紹介、高額医療費の還付手続きについてなどの情報提供を行いました。

⑥ 労働・就職(6件 1.4%)

求職に関する相談がほとんどで、ハローワークをご紹介しました。

⑦ 教育関係(8件 1.9%)

ハイティーンの日本語習得並びに進学についてや外国籍児童生徒の教育に関する相談は、山形こどもサポートネットと連携しながら対応しました。また日本への留学相談もあり情報提供を行いました。

⑧ 交通・運転免許等(9件 2.1%)

運転免許のとり方、車の保険について、交通情報の提供などを行いました。

⑨ 生活一般(155件 36.9%)

最も多い「話し相手(聞き役)」の内容は多様でした。日常的なおしゃべり相手であったり、アドバイスを求めるものや、子育てで抱えている不安をお聴きしたり、相談の結果報告をしてくれるなど、様々でした。その他、日本語があまり読めなかったり書くことが苦手な方へ、書類の書き方などアドバイスをいたしました。

#### ⑩ その他の紹介・照会等(57件 13.6%)

当センターの相談業務についての問合せや、法テラスの紹介、専門相談窓口の紹介などがありました。

**全体の特徴としては**、例年同様リピーターが多いことが挙げられます。解決に時間がかかり何回も相談に来られるケースもありました。また、市町村からの問合せも微増傾向にあります。中には、地域の保健師さんが、より正確に当事者の課題や思いを把握するためのお手伝いとして、相談員が通訳的に関するケースもありました。また、中には、震災以降に親族が母国に帰国した事を契機に、相談者自身も山形を離れ帰国する事を考えているケースなども散見されます。悩みながら迷いながら模索している相談者に寄り添いながら、適切な情報提供や、アドバイスをしていける相談員でありたいと、日々思っています。

#### 山形県の外国人登録者数の概況

山形県内の平成23年12月末における外国人登録者数は**6,330人**で、前年(平成22年)の**6,523人**から**193人(3.0%)**の減となり、平成17年の**7,703人**をピークに6年連続して減少しました。

#### 国籍別の在留状況

#### 市町村別の在留状況

国籍	登録者数(人)		構成比 (%)	対前年比 (人)	対前年増減 率(%)	市町村名	登録者数 (人)	対前年比 (人)	対前年増減率 (%)
	H22年	H23年							
中国	2,872	<b>2,726</b>	43.1	△146	△5.1	山形市	<b>1,138</b>	△33	△2.8
韓国・朝鮮	2,032	<b>1,968</b>	31.1	△64	△3.1	鶴岡市	<b>648</b>	△65	△9.1
フィリピン	682	<b>663</b>	10.5	△19	△2.8	米沢市	<b>685</b>	47	7.4
ベトナム	163	<b>180</b>	2.8	17	10.4	酒田市	<b>476</b>	1	0.2
ブラジル	117	<b>109</b>	1.7	△8	△6.8	寒河江市	<b>270</b>	△3	△1.1
タイ	80	<b>74</b>	1.2	△6	△7.5	新庄市	<b>349</b>	0	0
上記以外の国	577	<b>610</b>	9.6	33	5.7	天童市	<b>310</b>	△6	△1.9
						上記以外	<b>2,454</b>	△134	△5.2
総数	6,523	<b>6,330</b>	100	△193	△3.0	総数	<b>6,330</b>	△193	△3.0

#### 国別の状況

中国が2,726人で全体の43.1%を占め、以下韓国・朝鮮1,968人(31.1%)、フィリピン663人(10.5%)、ベトナム180人(2.8%)と続いており、これらアジア4カ国だけで全体の87.5%を占めています。その他、米国133人(2.1%)、ブラジル109人(1.7%)と続いています。

#### 男女別の状況

6,330人のうち、男性は1,365人(21.6%で対前年比0.4ポイント増)、女性は4,965人(78.4%同0.4減)となっています。外国人登録者が多いアジアの4カ国については、女性の占める割合が中国籍住民の78.9%、韓国・朝鮮の84.8%、フィリピン95.0%、ベトナム88.9%となっています。

#### 在留資格別の状況

平成22年12月末との主な比較では、入国管理法の改正に伴う新しい研修・技能実習制度が平成22年7月1日から施行されたことにより、従来までの「研修」「特定活動」から新設された「技能実習」への資格変更(「研修」114人減、「特定活動」323人減、「技能実習」320人増)が進んでいます。また景気の低迷により、企業が採用する技能実習生の数も減少しています。

また、「日本人の配偶者等」から「永住者」への資格変更(「日本人の配偶者等」120人減、「永住者」

120人増)が進んでいるほか、「定住者」が29人減少しています。

### 在留資格別在留状況

在留資格	外国人登録者数(人)			構成比 (%)	対前年比 (人)	対前年増減率 (%)
	H21年	H22年	H23年			
永住者	2,867	2,967	3,087	48.8	120	4.0
日本人の配偶者等	1,030	885	765	12.1	△120	△13.6
特定活動	906	354	31	0.5	△323	△91.2
研修	534	126	12	0.2	△114	△90.5
技能実習	—	709	1,029	16.3	320	45.1
特別永住者	363	358	344	5.4	△14	△3.9
定住者	333	278	249	3.9	△29	△11.2
留学	271	290	267	4.2	△23	△7.9
興行	20	13	9	0.1	△6	△30.8
上記以外の在留資格	524	543	537	8.5	△4	△1.1
総数	6,848	6,523	6,330	100	△325	△4.7

### 全国の外国人登録者の概況

平成22年末現在における国内の外国人登録者数は、**213万4,151人**で、前年に比べ5万1,970人(2.4%)減少しました。また、外国人登録者のわが国の総人口に占める割合は、わが国の総人口1億2,806万人の、**1.67%**となり、前年に比べ0.04ポイント減少しました。

多数を占める、出身国籍別・地域別登録者数は次表のとおりとなっています。

国籍	H22年(人)	構成比(%)	対前年比増減	対前年増減率(%)	地域	H22年(人)	構成比(%)
中国	687,156	32.2	6,638	1.0	アジア地域	1,681,469	78.8
韓国・朝鮮	565,989	26.5	△12,506	△2.2	南米地域	300,142	14.1
ブラジル	230,552	10.8	△36,904	△13.8	上記以外の地域	152,540	7.1
フィリピン	210,181	9.8	△1,535	△0.7	総数	2,134,151	100
上記以外	440,273	20.6	△7,663	△1.7			
総数	2,134,151	100	△51,970	△2.4			

(入管協会発行 平成23年度版 在留外国人統計より)

相談電話 023-646-8861 は、3人が電話で同時に通話できる3者電話(トリオフォン)ですので、通訳としてのお手伝いもできます。ご利用ください。

◇◆外国人相談窓口に関するお問合せ先◆◇

相談直通電話： 023-646-8861

英語・日本語： 火～土 10:00～17:00

中国語： 火・金 10:00～14:00

韓国・朝鮮語： 木・土 10:00～14:00

ポルトガル語： 水 10:00～14:00

タガログ語： 金 10:00～14:00

〒990-8580

山形市城南町一丁目1番1号

霞城セントラル2階

山形県国際交流センター



外国人相談窓口

担当：岡部

TEL:023-647-2560 FAX:023-646-8860

インターネットによる情報提供もご利用ください。

<http://www.airyamagata.org>

相談専用メール：airy-sou@jan.ne.jp

◆相談員の声◆ まず相談者の立場に立ち、よくお話をお聴きします。そして相談者の気持ちをよく理解したいと思います。問題解決に向かうように、連携を生かしながらサポートをしていきます（N）